

9月9日は救急の日

# 救急医療の利用は 正しい理解で適正に

ID 1004348

急な病気やけがをした時、誰もがつい慌ててしまいがちですが、普段から備えておくことで、いざという時に素早く適切に対応することができます。必要な時に、誰もが安心して救急医療を受診することができるよう、救急医療機関や救急車の利用方法について、正しい知識を身に付け、適正に利用しましょう。

問 保健所総務課 ☎ (626) 1103・1104



救急医療を本当に必要とする人が安心して治療を受けるために

## 私たちにできる4つのこと



1 かかりつけ医を持つ

体の不調や健康に不安を感じた時は、早めにかかりつけ医に相談し、適切なアドバイスを受けましょう。

なお、自宅近くの医療機関は、医療情報ネット「ナビイ」で検索できます。



▲医療情報ネット「ナビイ」



2 できるだけ昼間の診療時間内に受診する

救急外来は、時間外に受診できる便利な医療機関ではありません。救急医療を必要とする人が治療を受けるためのものです。

救急時以外に救急外来を受診することは避けましょう。



3 夜間・休日の急な病気は夜間休日救急診療所へ

夜間や休日の緊急時、比較的症状が軽い場合は、まず「電話相談」(7ページ参照)の利用をお願いします。

夜間休日救急診療所での処置は応急的なものであるため、速やかにかかりつけ医を受診しましょう。



4 救急車を適正に利用する

救急車を呼ぶか迷った時は電話相談や、全国版救急受診アプリ「Q助」を利用しましょう。「救急車を利用すればすぐ病院に行ける」などの安易な利用はやめましょう。



▲全国版救急受診アプリ「Q助」



## もしまに備えて

### 救急受診の手引き ID 1004350

救急医療や救急車を適正に利用していただけよう、普段から心掛けておくことや、夜間・休日に子どもが急な病気やけがをした時に、どのような対応をすればよいかなどを分かりやすく解説しています。

保健所(竹林町)などに置いてある他、市HPからもご覧になれますので、ご活用ください。

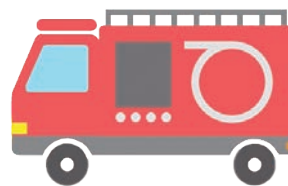


### 救急の日・救急医療週間イベント2026 ID 1048559

▼日時 9月5日(土)午後1時～3時。

▼会場 保健所(竹林町)。

▼内容 救急車や消防車、ドクターカーの展示、蘇生体験や健康チェックなどの市民参加コーナー。



## AEDで救える命があります

ID 1004603

AEDは、心停止の状態になった人に電気ショックを与え、心臓の動きを正常に回復させる機器です。音声メッセージで必要な対応を指示してくれるので、誰

でも確実に操作することができます。万が一、AEDが必要な場面に遭遇したら、周囲の人とも協力し、勇気を持って行動しましょう。

### AEDの設置場所を知っていますか? ID 1030363

日ごろから、よく利用する施設のAED設置状況を確認しましょう。AEDを設置している市有施設

やAEDステーション(民間の協力施設)を、市HPや「宇都宮まちかど情報マップ」に掲載しています。



▲宇都宮まちかど情報マップ



▲市HP



### AEDを貸し出します ID 1012980

市内で開催されるイベントなどにおいて、迅速に救命措置を行えるよう、無料でAEDの貸し出しを行っています。貸し出し条件など、詳しくは、市HPをご覧ください。



▲市HP



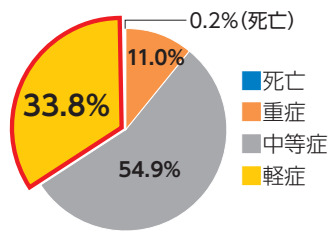
# 救急患者が発生した場合はすぐに救急車を呼ぶべき？ ID 1003318

## 救急搬送の3割を超える人が軽症の患者

令和7年の本市の救急出動は2万8,498件、1日の平均は78件でした。救急搬送された人の3割超が「入院を必要としない軽症の患者」です(右のグラフ参照)。

私たちにできる4つのこと(6ページ参照)を参考に、救急車を適正に利用しましょう。

傷病程度別搬送人員割合  
(本市 令和7年)



## 119番にかけるのはこんな時

- 突然うまく話せなくなる。
  - 突然の激しい頭痛。
  - 胸が圧迫されるように痛む。
  - 意識や呼吸がない。
  - 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた。
  - 大出血をしている、血を吐いたなど。
- 119番にかけた時は、慌てず正確に、通信指令員の質問に答えてください。



## 救急車の適正な利用を

救急患者の症状(軽症・重症等・重篤の3段階)によって、救急医療機関が分かれています。下の図を参考に、症状に合わせて、①電話相談②外来診療③救急搬送を適正に利用しましょう。

